

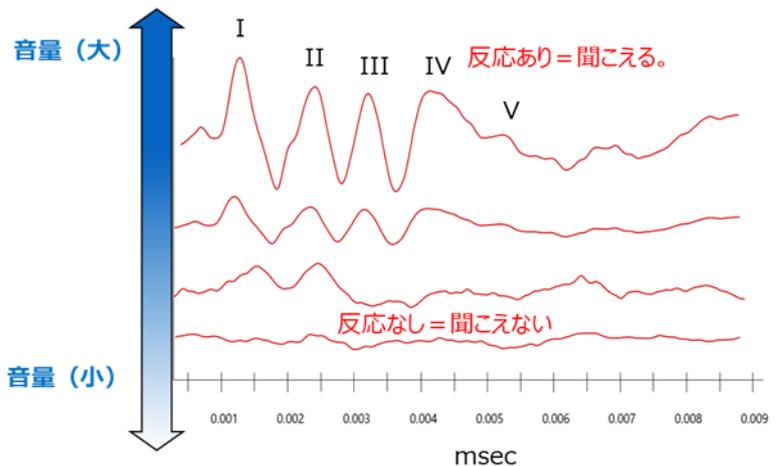
当社は、JAPICの動物実験実施施設認証を取得しています

聴覚評価

当社では、聴性脳幹反応（ABR）検査による薬効試験および毒性試験を実施しておりますのでご紹介します。

【NBRの聴覚に関する試験】	【使用細胞、使用動物】
マウス蝸牛細胞株を用いた <i>in vitro</i> 毒性試験	マウス内耳由来細胞（HEI-OC1）
加齢性難聴モデルを用いた薬効試験/毒性試験	マウス
騒音性難聴モデルを用いた薬効試験	マウス、モルモット
聴覚毒性試験（経口投与、中耳腔内投与等）	マウス、ラット、モルモット、イヌ、ミニブタ
鼓膜穿孔モデルを用いた薬効試験	モルモット
サリチル酸処理モデルを用いた蝸牛血流測定試験	モルモット
薬剤性難聴モデルを用いた薬効試験	マウス

聴性脳幹反応（ABR）検査



最初に90dBの音刺激を与えてABRを記録する。その後、音圧を変更し、ABRの波形が検出される最小音圧を音圧閾値(ABR thresholds: dB SPL)とする。

第13回 オンラインセミナー 2024年6月配信予定！

（会場/当社Web 展示会場 ウェビナーから録画配信）

オンラインセミナー
QRコード⇒



表題 「*in vivo* 及び *in vitro* 難聴モデルのご紹介」

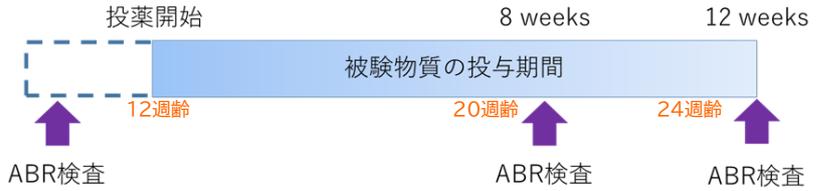
今回のセミナーでは、難聴モデルについて背景データを交えて紹介します。

QRコード、HPから参加申し込みが可能です。是非ご参加ください。

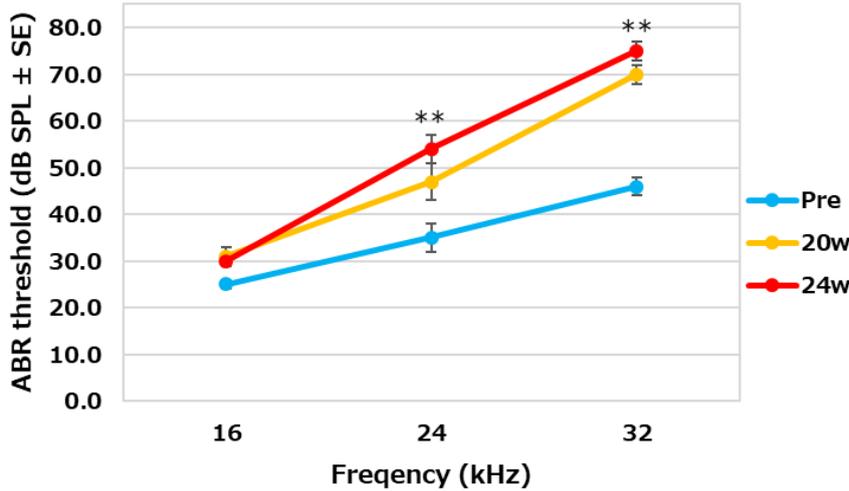
マウスを用いた加齢性難聴モデル

動物種: マウス
 系統: C57BL/6J
 投薬開始週齢: 12週齢
 評価方法: 聴性脳幹反応(ABR)検査

<スケジュール>



<ABR閾値の推移>



【結果】

24週齢において、音圧閾値の上昇が認められた。

** : Wilcoxonの符号付順位検定、Pre vs 24 weeks old, $p < 0.01$, $n = 12$

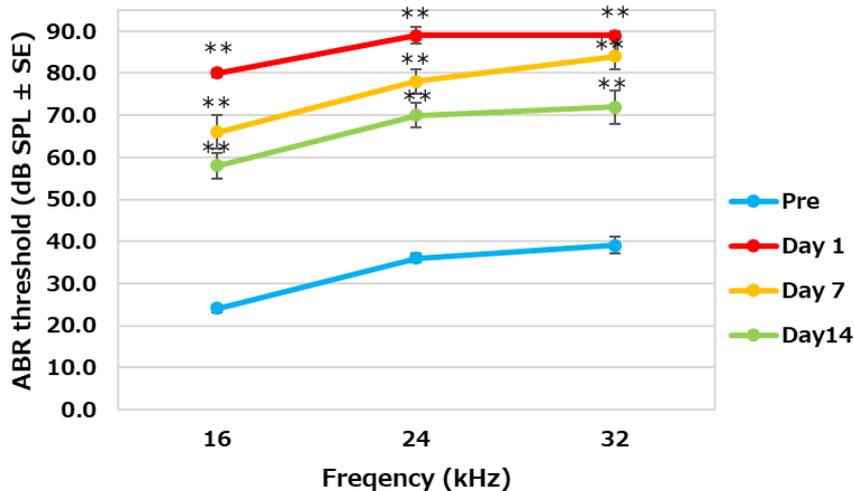
マウスを用いた騒音性難聴モデル

動物種: マウス
 系統: C57BL/6J
 モデル作製方法: 騒音負荷
 評価方法: 聴性脳幹反応(ABR)検査

<スケジュール>



<ABR閾値の推移>



【結果】

騒音負荷1日後から14日後において、音圧閾値の上昇が認められた。

** : Wilcoxonの符号付順位検定、vs Pre, $p < 0.01$, $n = 10$

マウス蝸牛細胞株を用いた *in vitro* 毒性試験については
 NBR Study Navi 第88号に掲載しております。